

令和4年度第2回 広島支部評議会議事概要報告

開催日時	令和4年10月25日（火） 15:00~16:40
場 所	広島ガーデンパレス2階「錦」
出席議員	（学識経験者）江頭 大藏、中野 幸恵、畑 雄太 （事業主代表）今井 麻衣子、佐藤 典子、中島 潤子 （被保険者代表）福島 淳仁、和田 利樹 （敬称略）
議 題	1. 令和5年度平均保険料率について 2. 令和5年度広島支部事業計画及び支部保険者機能強化予算の策定 に向けた意見聴取について 3. 更なる保健事業の充実にに向けた検討状況について
議事概要 （主な意見）	<p>議題1. 令和5年度平均保険料率について</p> <p>事務局より「令和5年度平均保険料率」について、資料に沿って説明。個別の意見等については、以下のとおり。</p> <p>（被保険者代表）高齢者の増加、若年労働者の減少、賃金も上がらないなど将来に向けた良い材料はなく、今後も財政がひっ迫していくと考えられ、平均保険料率10%を維持していくことが大事だと感じている。</p> <p>（学識経験者）今後、健診の補助を増額されるが、逆に財政を圧迫しないか心配である。コロナ禍により、リハビリ病院を中心に受診控えがあり、人との交流がないことでメンタル疾患の方が増えていると聞いている。医療機関以外でもそういった方のサポートしていくことも必要。</p> <p>⇒ 今後、医療の高度化と後期高齢者の拠出金の増加も予測される中、平均保険料率10%を中長期的に最大限維持していくことが協会全体の方針である。一方で、健診を受診することで未然に病気を予防することが大切であり、今回の健診補助の増額については前向きな方針である。</p> <p>（学識経験者）高齢者増加による医療費の高騰は不可避であり、中長期的に平均保険料率10%とすることが妥当かどうか、根拠がわからないが現在の制度を維持していくべき。一方で、企業の健康経営や健康づくりの結果がストレートに反映される仕組みづくりをお願いしたい。</p>

(学識経験者) コロナ禍による受診控えで医療費が減っており、今後反動で医療費の増加が推測されるが、専門家などによる分析を実施しているのか。

⇒ 全国平均と比較して、大規模支部の医療費が多く、小規模支部の医療費が少ない傾向である一方、広島支部においては医療費を使っていない傾向にある。

(被保険者代表) 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に引下げとなった場合、協会けんぽへの影響はあるのか。

⇒ 現状においても対症療法としての診療については、保険診療もあるため、2類から5類感染症になったとしても、急激に医療費負担が増加するとは考えていない。

議題2. 令和5年度広島支部事業計画及び支部保険者機能強化予算の策定に向けた意見聴取について

事務局より「令和5年度広島支部事業計画及び支部保険者機能強化予算の策定に向けた意見聴取」について、資料に沿って説明。個別の意見については、以下のとおり。

(学識経験者) 「睡眠で休養がとれていない者の割合が全国平均を上回る」ことについて、何を元に数値を出しているのか。原因分析は行っているのか。また、具体的な働きかけ方法はどうするのか。

⇒ 健診受診時の問診票データを元に集計している。広島支部においてメンタル疾患の方の医療費が多いという課題から、重点施策として提案させていただいた。具体的な働きかけとして、ヘルスケア通信簿の送付時に健康づくり講座のご案内、産業保健総合支援センターの周知を行う。また、今年度、事業所へのアンケートを行う予定としており、広島県西部が高い要因も探っていきたい。

(事業主代表) 誰でも実施できる取組み(健診、禁煙や禁酒など)を評価して、保険料を下げるなどの特典やメリットがないと、病気を未然に予防するための具体的な行動につながらないのではないか。

(事業主代表) 睡眠で休養がとれていない者をさらに分類するなど、健診結果等を元にしたより多角的な分析が必要ではないか。本当にサポートが必要な方を分類、抽出したうえで働きかけをお願いしたい。

⇒ 今年度、専門業者が健診データ、レセプトデータ、事業所へのアンケート結果を分析し、来年度の事業提案を行っていく予定である。

議題3. 更なる保健事業の充実に向けた検討状況について

事務局より「更なる保健事業の充実に向けた検討状況」について、資料に沿って説明。個別の意見については、特になし

特記事項

次回は令和5年1月に開催予定